

平和省地球会議とは

「平和省」とは、暴力に頼らずあらゆる争いごとを創造的で建設的な対話によって解決していく、そういった方法を提案し推進する政府機関のことで。

平和省に準ずる政府機関はすでにソロモン諸島とネパールにもう存在しています。8月に「司法平和省創設法」が成立したコスタリカでは、年内に「司法平和省」が創設される予定です。米国やカナダやイギリスの議会にも平和省設置法案が提出されています。

私たちは、「将来日本にも平和省を！」と願っていますが、世界には頼もしい仲間がたくさんいます。それを束ねている世界的な組織として「平和省グローバル・アライアンス」も存在します。

「平和省地球会議」とは、各国で「平和省」の創設を目指して活動している仲間たちが集う会議のことです。2005年のロンドン、2006年のカナダ、2007年の日本に続いて、今回会議が開かれた中米のコスタリカには、5大陸にまたがる世界40か国から200人が集まりました。

毎回の会議の主な内容は以下の5つです。

- ・平和的なコミュニケーション、自分自身と相手の心への語りかけを訓練し、自分たちの思いを確認し、気づきや創造性を活性化する。
- ・各国の平和省創設運動の現状を報告しあい、今後の運動の方向性を議論する。
- ・経済や「富の分配」の新しい見方や「平和な社会のシステム作り」、「平和的な紛争解決の方法」、「メディア」、「資金集め」などを専門家の講演から学び、平和省創設に役立つ方法を自ら考える。
- ・「平和省グローバル・アライアンス」の組織のあり方、運営の方法を自分自身の問題として再確認し、今後1年間の担当候補者を募る。
- ・心を開いて本音で語り合い、思いと目的を共有する仲間との連帯感を確かめ、今後の活動のためのエネルギーを補給する。

さらに、今回の会議においては、主催国コスタリカの平和教育、平和外交のあり方を学び、8月の「司法平和省創設法案」通過に至るまでの経緯から、他国の平和省創設運動へのヒントを探り出すという課題も加わりました。

エアコンが効いた締め切った部屋で背広を着た男たちが建前を交換する会議ではありません。緑の自然に囲まれ爽やかな空気が通るテント屋根の下、カジュアルな服装の男女が時に真剣に時に楽しく語り合い、協力して一つのものを創り上げようとする。そういう会議でした。

